

新基本構想の都市像（たたき台）

「未来に恵みと希望を伝える仙台」

- ・ 400年を越える歴史により培われてきた杜の都・仙台独自の資源を再発見・再構築し、それらに新しい息吹を吹き込むことによって、輝く新しい価値を創造していく。
- ・ そのために、市民・NPO・企業・行政等のそれぞれがまちづくりの主体となり、対等の立場で自律と責任を持って公益活動を担いながら、新たな公共的課題の解決に取り組んでいくという「行動する市民力」によって、私たちにふさわしい仙台と市民生活の真の豊かさを実現していく。
- ・ 私たちの心地よい暮らしを支える仙台の個性である「健やかな暮らし」、「自然との共生」、「世界に生きる東北の力」、「未来を築く学び」を、市民自らの手で創り上げる価値によって、さらに磨きをかけ強みとし、それらの恵みと希望を大切に育みながら未来の市民に継承していく。

私たちが守りたい価値、育てたい価値、伝えたい価値を共有するために、こうありたいと願うまちの4つの将来像を示し、この姿に近づいていくために、市民1人ひとりが個々の行動を起こす際の基準とする。

I すべての人が心身ともに健やかに心安らかな暮らしができるまち

- ・ 人間の尊厳を大切にし、多様性を認め合い、支え合いながら共に生きることができる。
- ・ 生涯を通じて心身ともに健康に、それぞれの意思に従って自立しながら生きがいのある生活を送ることができ、地域を中心に互いに助け合いながら子育てをすることができる。
- ・ まちづくりの主体が、互いに知恵を出し合い共に連携・行動し、支え合う豊かな地域社会に暮らすことができる。
- ・ 災害による被害を限りなく小さくし、万一の際にはできるだけ早く元の生活に戻る備えに守られながら安心して生活することができる。

II 地球環境を守り身近な自然に親しむ暮らしができるまち

- ・ 豊かな緑、美しい空気、清らかな水など、あふれる自然に囲まれ、うるおいを感じて生活することができる。
- ・ 杜の都にふさわしい環境資源を共に考え共に創り上げ、住む人にとっても訪れる人にとっても、ゆとりと憩いとなる景観と自然環境の中に身を置くことができる。
- ・ 遠い未来に生きる人々に思いをはせながら、かけがえのない地球の環境を守り伝える意思によって、その活動に誇りを持って参加することができる。

Ⅲ 東北全体の発展を応援し先導して世界とつながる暮らしができるまち

- ・ 東北地方の支えを自覚しながら、仙台の個性と魅力を創り出し、交流の拠点となる都市機能を整え、アジア諸国をはじめとする世界の経済活動や人材を活用し、東北全体の発展につなげる役割を果たすことができる。
- ・ 安定した雇用のもとに、1人ひとりが能力と個性を生かして働き、モノやサービスに世界が求める新しい価値を付け加える活発な産業活動を行うことができる。
- ・ 南北・東西の地下鉄を基軸とした交通体系と機能集約型の都市構造のもとに、便利で快適に暮らし、さまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。

Ⅳ 未来を担う世代を大切に育て互いに学び合う暮らしができるまち

- ・ 次代を担う子どもたちが、豊かな教育環境の中で心身ともに健やかに育ち、未来を切り拓く力を身に付けることができる。
- ・ 仙台の歴史や伝統を大切にしながら、一人ひとりの創意工夫により新しい文化を創り上げることができ、それぞれの興味や関心に従ってさまざまな芸術やスポーツを楽しむことができる。
- ・ 世界からの人材や情報を生かし、未来を創造する知的資源を積み上げながら、学術研究活動が盛んになり、その成果と活動を通じて得た多様な知恵と創意を市民全体で共有することができる。
- ・ 仙台独自の地域資源が生かされ、自らの成長と暮らしの豊かさにつながる学びの場が多彩となり、まち全体があたかも1つの大きなミュージアムとなる都市で充実した時間を過ごすことができる。